

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

令和二年六月度 入選句 (投稿総数千三百四十八句・小中学投句数八百八十句)

特選

そらまめのおふとんぼくもねてみたい 大垣市 茂木 武琉(小二)

そら豆のさを割ると、まっ白い綿に包まれた、緑色のそら豆が二、三粒並んでいます。作者は、そのまっ白い綿のようなやわらかなふとんにくるまって寝てみたいと言っています。作者の素直でやさしい人がらにじみ出たすてきな一句です。

花しようぶドレス広げて立っている 愛知県碧南市鈴木 結菜(小三)

「ドレス広げて立っている」が、いいですね。花しようぶの花びらには、紫、うす紫、白、黄色と美しいさまざまな色合いのものが見られます。こんな美しい色の花びらが開いたさまを「ドレスを広げて」と表現しました。茎の先に一つずつ花をつけて、すっくと立っているということです。花しようぶの立ち姿を、確かな写生とたとえの効いたすてきな一句です。

鮎釣って焼いたしっぽがぴんとはね 加茂郡川辺町新藤 真白(中三)

「焼いたしっぽがぴんとはね」が、いいですね。捕れたばかりの鮎を焼いてお皿にのせたら、まだ生きている鮎のように、しっぽをぴんとはね上げていると言っています。あゆは、川魚の王と言われるように、姿、かたち、味すべてが整った夏の魚です。鮎の特長をよくとらえたすてきな一句です。

秀逸

新学期新しいもの友に校舎 加茂郡川辺町 吉田 知城(中二)

六がつにきれいなままのれんらくちよう 大垣市 土屋 直輝(小一)

あじさいはえのぐパレットみたいだな 大垣市 すみだ さな(小二)

ホウセンカ土をおしあげめがでたよ 大垣市 田代 友理(小三)

ほたるさんけっこんあいてさがしてる 大垣市 松田 琉花(小三)

なつよるかぞくみんなでランニング 大垣市 渡部 航(小四)

たけのこがはやくぬいてとのぞいてる 大垣市 すぎはら じゅり(小四)

じいちゃん畑でいっしょにいちごがり 大垣市 川せ あい(小四)

せんぷうきわたしのまえがみおどってる 大垣市 水谷 莉菜(小二)

さやえんどう小さなうでをまきつけて 大垣市 杉原 汰星(小五)

入選

風鈴が静かな風に鳴り響く 加茂郡川辺町 渡邊 美羽(中三)

こどもの日多くの鯉が空を舞う 加茂郡川辺町 松下 昊矢(中三)

ランニングの妹の首に汗光る 加茂郡川辺町 山下 真彩(中三)

水まきは優しい風を運び来る 加茂郡川辺町 坪内 來斗(中三)

ありのみちたどっていくとぼくのあめ 大垣市 國枝 拓真(小二)

ホテル舞う母と手を引く夜の道 大垣市 宮部 青空(小二)

ははのひのつぎはちちのひプレゼント 大垣市 静 怜奈(小二)

とけそうだカップにおやまかきごおり 大垣市 日比野 杏(小二)

ぴかぴかとほたるのおしりひかる川 大垣市 田口 奏瑠(小二)

しやぼんだまふわふわゆれるかせのまま 大垣市 すずき ももか(小二)

入選

水のものであかちゃんトマトあかくなれ 大垣市 村岡 莉彩(小三)

くらやみにホテルが光るくいせ川 大垣市 早崎 恵生(小三)

つゆいりはママがいやがるせんたくだ 大垣市 青木 那由花(小三)

こいのぼりおそらのうみをおよいでる 大垣市 木下 明里(小三)

モンシロチョウせまいよ虫かご青空へ 大垣市 田代 友理(小三)

五わのひなおおきなくちでえさをまつ 大垣市 松岡 煌斗(小四)

キャンプやる家よりおいしい夜ごはん 大垣市 林 風美(小四)

夏ぼうし日かげのかわり守ってよ 大垣市 あだち みおん(小四)

さか上がりさくらふぶきがおうえんだん 大垣市 河合 柚奈(小四)

夕やけにわたしのかげがなくなる 大垣市 山本 かのん(小二)

選者吟

青嵐吹きぬけてゆく古戦場

幹郎